

平成22年度 沖縄県推奨優良県産品の申請募集！

平成22年度沖縄県推奨優良県産品の申請を募集します（沖縄県では、選定審査会の厳正な審査に合格した優れた県産品を、優良県産品として推奨しております）。

推奨制度を積極的に活用して、自社製品の品質向上と、県内外の市場における販路開拓に取り組む意欲的な県内企業の応募をお待ちしております。

※製品の審査対象資格等において、前年度の制度とは変更となる場合があります。ご了承ください。

《募集概要》

□申請資格

県内に事業の本拠を有する製造業者又は販売業者

□申請部門

- 飲食料品の部：加工食品、飲料 ・ 生活用品の部：家庭用雑貨など
- その他製品の部：機械・設備、建設資材など

□申請受付期間

平成22年3月1日（月）～平成22年3月15日（月）

□お問い合わせ先

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2

沖縄県観光商工部商工振興課（県庁8階） TEL 098-866-2337

どうなる飲食店の対策？

職場における受動喫煙防止義務化に向かうか

厚生労働省の「平成19年労働者健康状況調査」によれば、職場において受動喫煙防止の対策として、全体では「事業所全体を禁煙」としているのが18%、「喫煙室を設け、それ以外は禁煙」としているのが28%、「どちらの対策も講じていない」のが54%となっている。ただし、事業所規模別にみると、5000人以上だと全てが何らかの対策を講じているのに対して、30～49人では53%、10～29人だと56%が対策を講じていない状況にある。

こうした中で、職場における受動喫煙防止対策を検討している厚生労働省の研究会では、報告書の骨子案を公表した。その中で、具体策として、①一般の事務所や工場などの施設において、「全面禁煙」または「空間分煙」の方法をとる必要があること、②飲食業ほか顧客にサービスを提供する業種においても、顧客が喫煙するため、①の対策が難しい場合でも、サービスを提供する労働者の受動喫煙防止対策をとる必要があること、を示している。なお、対策が遅れる中小企業に対して、財政的支援のほか、相談体制の整備の必要性も指摘している。今後、4月にも報告書がとりまとめられた後、労働安全衛生法等の改正が必要と判断され、改正法案が策定される可能性がある。



ワールド・ベースボール・クラシックの創設者

ジム・スモール氏が講演（北谷町商工会）

北谷町商工会は2月22日、（在沖米国総領事館主催）と共催で、国の威信をかけて戦うワールド・ベースボール・クラシックワールドの創設者「ジム・スモール」氏を招き講演会を行った。約100名の商工会会員、スポーツ関係者が詰め掛けた講演でジム・スモール氏は、スポーツマネージャーとしての役割や、スポーツ団体が金銭面で競争力を維持するのに必要なポイントを分かりやすく解説した。景気低迷でスポンサー収入が伸び悩み、経営難を抱えるスポーツ団体が見られる中、経営危機回避の示唆を与える講演に、スポーツ団体関係者は、熱心に聴講していた。



通訳を交え、講演するジム・クラーク氏